

奥の細道むすびの地「大垣」 十六万市民投句

小中学生の部

奥の細道
むすびの地



令和五年六月度 入賞句一覧

投句数 千二百五十二句

特選

説田 祐子 選

夏が来た風のおいが変わって

加茂郡川辺町 小田垣 理子(中三)

作者は中学三年生。夏休みを前に運動や学習に活動的な毎日を過ごしていることでしょう。そんな中で、作者はなんと「風のおい」の違いに気付かれたのですね。風の強さや弱さは日々口にすることがありますが、「におい」に気付くことはあまりない中で、「においが変わってきた」と表現できたことはすばらしいと思います。俳句は、目・耳・口・鼻・手を使う「五感」で感じたことを、と言われていますが、そのよい例の俳句だと思います。

風がふく田んぼの水がひかっている

大垣市 みわ かな(小四)

初夏を迎え、大垣輪中の水田も、田植えを前に(すでに田植えを終えているところもありますが)あちこちの田に水が入っています。その様子を「水がひかっている」と表現できたところがすばらしいです。大垣輪中に水がなみなみと入った様子がよく伝わってきます。

ながれ星家族みんなでねがいごと

大垣市 山本 花音(小五)

流星を見ながら願いをかけるとよいということはよく聞きます。私も小さい頃はしたことがあります。作者は、その流れ星に「家族みんなで」願いをかけるというところがいいですね。家族のあたたかさが伝わってきます。読ませてもらった私も、そうなるように願っています。

秀逸

妹が似顔絵書いた父の日に

大垣市 鈴木 桃果(小五)

かわせみが魚をねらいダイビング

大垣市 秋吉 音弥(小六)

夏の空アラームがわりのアブラゼミ

加茂郡川辺町 櫻井 大也(中三)

あじさいの雫に笑顔一つずつ

加茂郡川辺町 小田 憩(中三)

あじさいはお花のドレス身につける

加茂郡川辺町 馬場 岳空(中二)

さあプールさかなになつてとびこもう

大垣市 神谷 凜(小五)

あめがふるかえるでできてがつしようだ

大垣市 渡邊 拓門(小四)

かたつむりのんびりさんぼたのしそう

大垣市 そばじま えいが(小四)

あじさいが雨のリズムとおどってる

大垣市 和田 愛菜(小五)

ひさびさのプールたのしみとびこむぞ

大垣市 加納 旬(小二)

入選

小中学生の部

川の中水としぶきでおどるこい	大垣市	小関 美琴（小五）
ゆらゆらとかたばみの花ねむってる	大垣市	増田 愛璃（小四）
しらさがせすじをぴんとのぼしてる	大垣市	よしだ なお（小三）
ふねのしたなつのさかながかくれんぼ	大垣市	杉本 彩華（小五）
太陽が入道雲にのまれてく	加茂郡川辺町	堀井 咲来（中三）
あめのようなかえるのがつしようにぎやかだ	大垣市	やまだ たいが（小四）
虹が出て気分が上がる雨上がり	加茂郡川辺町	山田 心冴（中二）
美しき向日葵同士の背比べ	加茂郡川辺町	大杉 ひより（中二）
妹とにわでなげあう水ふうせん	大垣市	二村 そうた（小二）
あまがえるはっぱのうえできゆうけいだ	大垣市	白木 りつと（小二）
おいしそうにゆうどう雲をたべたいな	大垣市	中村 心玲（小三）
夕ぐれの合図待つのはかえるたち	大垣市	柳瀬 才嬉（小四）
かえるくん車が来たよ気をつけて	大垣市	小松 大和（小五）
ふうりんがチリンチリンとうたってる	大垣市	小坂 南帆（小五）
通学路あじさい笑うこんにちは	大垣市	高橋 結愛（小五）
熱帯魚すいそうのおどってる	大垣市	北村 優奈（小六）
向日葵は太陽のむき気にしてる	大垣市	三輪 白亜来（小六）
葉桜が今年も夏を彩って	大垣市	紙本 紗希（小五）
ふわふわとかわをてらすよほたるのひ	大垣市	松尾 玲那（小二）
葉桜の下にたたずむばしようさん	大垣市	酒井 琳太郎（小六）

選者吟

梅雨晴間運動場に子等の声

祐子

